

# 1-COMPONENT WIDE SERIES

自己架橋弱溶剤形樹脂塗料

## 1液ワイドシリーズ

弱溶剤

1液形

- 高耐候性
- 低汚染性
- 防かび性・防藻性
- 無鉛

自己架橋 弱溶剤形アクリルシリコン樹脂塗料

### 1液ワイドシリコン

自己架橋 弱溶剤形ポリウレタン樹脂塗料

### 1液ワイドウレタン



建築塗料の総合メーカー



スズカフアイン株式会社

# 1液ワイドシリーズ セラミック配合

ECO・EASY・ECONOMICAL ◆環境に優しく、簡単便利で、経済的◆

## WIDE SERIES Three 「E」 宣言

自己架橋システムの導入により、1液タイプで優れた性能を有する弱溶剤形樹脂塗料です。環境への配慮と使いやすさを追求し、幅広い用途に対応する理想的な塗料を提案します。

自己架橋 弱溶剤形アクリルシリコン樹脂塗料

### 1液ワイドシリコン

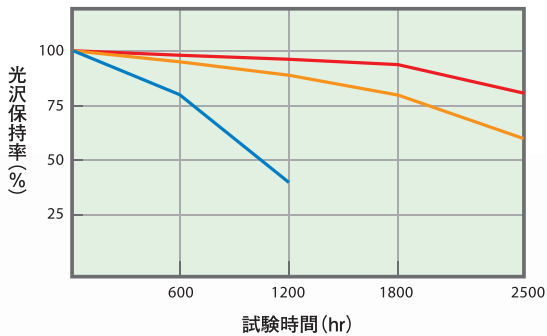
自己架橋 弱溶剤形ポリウレタン樹脂塗料

### 1液ワイドウレタン

#### 特長

- ◆高耐候性◆ 自己架橋による強靱な塗膜は、紫外線、酸性雨などに対して優れた抵抗性を示します。  
1液ワイドシリコン:耐候性1種に相当 1液和磯ウレタン:耐候性2種に相当
- ◆弱溶剤◆ 弱溶剤タイプなので、既存塗膜を溶解、リフティングさせる心配が少なく、安心して使用できます。  
強溶剤タイプに比べ、臭気が柔らかく、作業環境が改善されます。
- ◆1液タイプ◆ 自己架橋樹脂の技術で1液化を実現しました。塗装時、2液形のような煩わしさがありません。  
また、廃棄物も減少できます。
- ◆低汚染◆ セラミック配合により、低帯電性の汚れにくい塗膜を形成します。
- ◆無鉛◆ 鉛・クロムを原料に使用していません。

#### 促進耐候性試験結果(キセノンランプ法)



1液ワイドシリコン ★ 1液ワイドウレタン ★ 一般アクリル樹脂塗料 ★

#### 商品体系

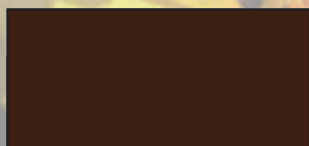
商品名	色相	容量	備考
1液ワイドシリコン	白・黒・赤・赤さび色・オーカー色 黄色・紺・シアニンググリーン 調色品(淡彩色・中彩色・濃彩色)	15kg 3kg (原色のみ)	第四類第二石油類 危険等級Ⅲ 第三種有機溶剤等
1液ワイドシリコン	7分つや 5分つや 3分つや 白 調色品(淡彩色・中彩色・濃彩色)	15kg	
1液ワイドウレタン	白・黒・赤・赤さび色・オーカー色 黄色・紺・シアニンググリーン・マルーン 調色品(淡彩色・中彩色・濃彩色)	15kg 3kg	第四類第二石油類 危険等級Ⅲ 第三種有機溶剤等
1液ワイドウレタン	7分つや 5分つや 3分つや 白・黒・赤・赤さび色・オーカー色 黄色・紺・シアニンググリーン・マルーン 調色品(淡彩色・中彩色・濃彩色)	15kg 3kg	
1液ワイドウレタン(破風用)	チョコレートブラウン ライトブラウン カーキ	15kg 3kg	
1液ワイドウレタン木部用下塗	マザーブラウン オフホワイト	16kg 4kg	指定可燃物 可燃性液体類 第三種有機溶剤等

#### 塗装適用範囲

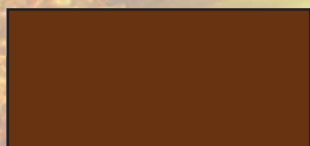
適用部位	適用素地	適用既存塗膜
●建築物 (内外部用)	●セメント系素地 ・コンクリート・モルタル・木部・スレート・PC部材 ・業系サイディングなど	●合成樹脂調合ペイント ●ポリウレタン樹脂塗料 ●フタル酸樹脂エナメル ●塩化ゴム樹脂塗料
●鋼構造物	●金属系素地 ・鋼板・鋼材・アルミ・ステンレス・金属系サイディングなど	●アクリル樹脂エナメル ●リシン・吹付タイル ●アクリルアルキド樹脂塗料

#### 専用色見本

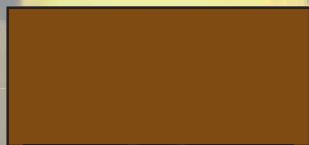
##### 1液ワイドウレタン(破風用)



チョコレートブラウン

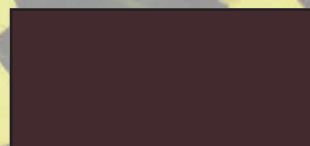


ライトブラウン

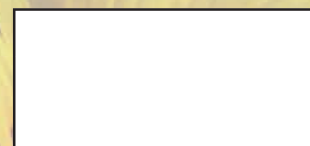


カーキ

##### 1液ワイドウレタン木部用下塗



マザーブラウン  
(日塗工09-30D近似)



オフホワイト  
(日塗工N-93近似)

注)色見本は印刷ですので、現物とは若干の色差があります。ご了承ください。

# 共通色見本



↑A002



↑A005



↑A009



↑A010



↑A455



↑A401



↑A201



↑A303



↑A417



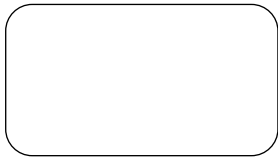
↑A204



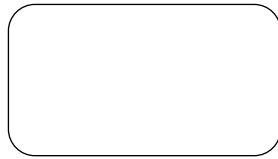
↑A419



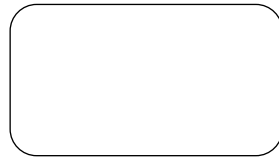
↑A428



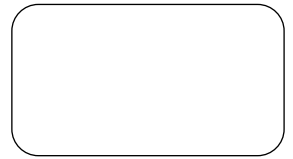
↑A001



↑A602



↑A607



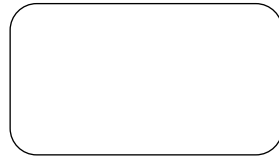
↑A420



↑A411



↑A320



↑A322



↑A370



↑A350



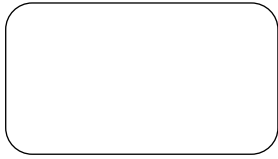
↑A358



↑A359



↑A305



↑A500



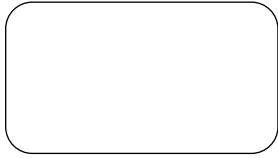
↑A403



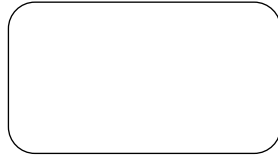
↑A470



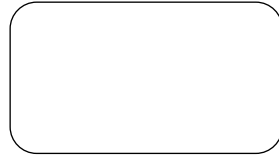
↑A471



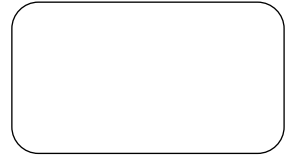
↑A352



↑A271



↑A272



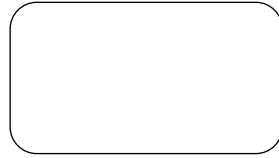
↑A273



↑A013



↑A650



↑A652



↑A020



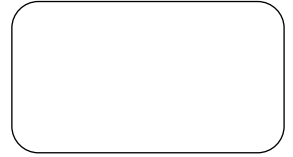
↑A260



↑A261



↑A263



↑A021

お願い

- 色見本は、紙に塗装していますので、実際の仕上がりとは、色・つやが多少異なります。ご了承ください。
- 色によっては材料費が割高になるものや調色扱いとなるものがありますのでご了承ください。
- 広い面積に塗装した場合、実際の色が見本帳の色よりも多少明るく見える場合があります。
- 1液ウレタン木部下塗の色は専用色見本からお選びください。

## 塗り替え塗装仕様

- 外壁(コンクリート・モルタル・窯業系サイディングボード)  
…(既存塗膜…リシン・吹付タイル・スタッコ・EP・AEPなど)

### 1 既存塗膜のテクスチャーを活かす場合 (活膜の既存塗膜を対象にしています。)

工程	塗料	調合(重量比)	標準塗付量(kg/m <sup>2</sup> /回)	塗回数	間隔時間(23℃)	施工方法
1 下地調整	・チョーキング、汚れ、じんあい、劣化塗膜などを高圧水洗で除去する。 ・水洗い面を十分に乾燥させる。					
2 上塗り	1液ワイドシリーズ 塗料用シンナー	100 5~15	0.12~0.20	2	4時間以上 (最終養生 24時間以上)	はけ塗り ウールローラー塗り エアレス塗り

□ 上塗りの種類: 1液ワイドシリコン、1液ワイドウレタン  
※吸い込みが著しいなどで下塗りをされる場合には、ワイドシーラー-EPOをご使用ください。

### 2 既存塗膜のテクスチャーを交える場合

工程	塗料	調合(重量比)	標準所要量(kg/m <sup>2</sup> /回)	塗回数	間隔時間(23℃)	施工方法
1 下地調整	・既存塗膜の浮き、ふくれ、ぜい弱部などはサンダー皮スキなどを用いて除去する。 ・チョーキング、汚れ、じんあい、劣化塗膜などを高圧水洗で除去する。 ・水洗い面を十分に乾燥させる。 ・既存塗膜の段差を同一模様になる塗材で復元する。					
2 下塗り	リメックプラ 清 水	100 1~3	0.80~1.50	1	8時間以上	パターンローラー塗り
3 上塗り	1液ワイドシリーズ 塗料用シンナー	100 5~15	0.12~0.20	2	4時間以上 (最終養生 24時間以上)	はけ塗り ウールローラー塗り エアレス塗り

□ 上塗りの種類: 1液ワイドシリコン、1液ワイドウレタン

### ● 一般鉄部及び金属部(既存塗膜: SOP、フタル酸樹脂、塩化ビニル樹脂、アクリル樹脂など)

工程	塗料	調合(重量比)	標準塗付量(kg/m <sup>2</sup> /回)	塗回数	塗装間隔(23℃)	塗装方法
1 素地調整	・ディスクサンダーなどの電動工具を主体とし、スクレーパー、ワイヤーブラシ、研磨布、皮すきなどの手工具を併用して、さび、劣化塗膜などを除去する。 ・油脂類は溶剤ぶきで除去する。					
2 下塗り	エポマイルド	100	0.12~0.16	1~2	3時間以上	はけ塗り ウールローラー塗り エアレス塗り
3 上塗り	1液ワイドシリーズ 塗料用シンナー	100 5~15	0.12~0.16	2	4時間以上 (最終養生 24時間以上)	はけ塗り ウールローラー塗り エアレス塗り

□ 上塗りの種類: 1液ワイドシリコン、1液ワイドウレタン  
□ 使用可能下塗り: エポマイルド、エポブラ、さびストップ  
※塗り替え面にさびが発生していない場合には、下塗りを省略することができます。

### ● 金属屋根(トタン、カラートタンなど)

工程	塗料	調合(重量比)	標準塗付量(kg/m <sup>2</sup> /回)	塗回数	塗装間隔(23℃)	塗装方法
1 素地調整	・ディスクサンダーなどの電動工具を主体とし、スクレーパー、ワイヤーブラシ、研磨布、皮すきなどの手工具を併用して、さび、劣化塗膜などを除去する。 ・油脂類は溶剤ぶきで除去する。					
2 下塗り	エポマイルド	100	0.12~0.16	1~2	16時間以上	はけ塗り ウールローラー塗り エアレス塗り
3 上塗り	1液ワイドシリーズ 塗料用シンナー	100 5~15	0.12~0.16	2	4時間以上 (最終養生 24時間以上)	はけ塗り ウールローラー塗り エアレス塗り

□ 上塗りの種類: 1液ワイドシリコン、1液ワイドウレタン  
□ 使用可能下塗り: エポマイルド、エポブラ、さびストップ  
※塗り替え面にさびが発生していない場合には、下塗りを省略することができます。  
フック部、トタンの折り曲げおよび接合部などで、下塗りの塗膜が滑らないように注意してください。

### ● セメント系屋根(新生瓦、セメント瓦、スレート瓦)

工程	塗料	調合(重量比)	標準塗付量(kg/m <sup>2</sup> /回)	塗回数	塗装間隔(23℃)	塗装方法
1 素地調整	・新生瓦表面のぜい弱部・劣化塗膜・ゴミ・汚れなどを高圧水洗で除去する。 (特に新生瓦の板と板のすき間は入念に清掃する) ・水洗い面を十分に乾燥させる。(1日以上放置する)					
2 下塗り	ワイドシーラー-EPO	100	0.10~0.17	1	3時間以上	はけ塗り ウールローラー塗り エアレス塗り
3 上塗り	1液ワイドシリコン 塗料用シンナー	100 5~15	0.12~0.16	2	4時間以上 (最終養生 24時間以上)	はけ塗り ウールローラー塗り エアレス塗り

□ 上塗りの種類: 1液ワイドシリコン  
□ 使用可能下塗り: ワイドシーラー-EPO  
※新生瓦の場合、上下の板の重なり部につき間が狭い場合は、塗装前にスパーサー部材(タスペーサー等)を挿入し、排水機能を維持してください。塗装後にやむを得ず皮スキなどで縁切る場合は、塗膜を傷めないように十分注意してください。

### ● 木部

工程	塗料	調合(重量比)	標準塗付量(kg/m <sup>2</sup> /回)	塗回数	塗装間隔(23℃)	塗装方法
1 素地調整	・オービタルサンダー(研磨紙P180~240)などを用い、かんな目、逆目、毛羽を除去し平滑にする。 ・汚れ、じんあいは拭き取り、ヤニ・油脂類は溶剤拭きで除去する。 ・既存塗膜の劣化部分は、スクレーパー、研磨等を用いて除去する。					
2 下塗り	1液ワイドウレタン 木部下塗り	100 (無希釈)	0.12~0.16	1	3時間以上	はけ塗り ローラー塗り エアレス塗り
3 上塗り	1液ワイドウレタン 塗料用シンナー	100 5~15	0.12~0.16	2	工程内4時間以上 (最終養生 24時間以上)	はけ塗り ローラー塗り エアレス塗り

□ 上塗りの種類: 1液ワイドウレタン、1液ワイドシリコン  
□ 使用可能下塗り: 1液ワイドウレタン木部下塗り、ドライキット、エスコート下塗り

### ● 樋(硬質塩ビ)

工程	塗料	調合(重量比)	標準塗付量(kg/m <sup>2</sup> /回)	塗回数	塗装間隔(23℃)	塗装方法
1 素地調整	・サンドペーパーなどを用いて目荒しをする。 ・汚れ・付着物・油脂類をシンナーぶきなどにより除去する。					
2 上塗り	1液ワイドシリーズ 塗料用シンナー	100 5~15	0.12~0.16	2	4時間以上 (最終養生 24時間以上)	はけ塗り ローラー塗り エアレス塗り

□ 上塗りの種類: 1液ワイドシリコン、1液ワイドウレタン

注) ①建物の構造、塗装対象(雨のかりがけが少ない面、汚れが多量に集まる面など)によっては、低汚染効果が発揮されないことがありますのでご了承ください。

②各製品の容器には、取扱い上の注意事項などを記載していますので、必ずお読み頂き、正しく安全にご使用ください。また、製品の詳細な内容が必要な時には、安全データシート(SDS)をご参照ください。

## 新設塗装仕様

- 外壁(コンクリート・モルタル・窯業系サイディングボード)

### 平滑仕上げ

工程	塗料	調合(重量比)	標準塗付量(kg/m <sup>2</sup> /回)	塗回数	塗装間隔(23℃)	塗装方法
1 素地調整	・素地は、十分に乾燥させる。(含水率10%以下、pH10以下) ・素地のレタンス、エフロレッセンス、汚れは除去し、巣穴・不陸、目違いなどは予めラフトンフィラーなどの仕上塗材用下地調整塗材にて補修する。					
2 下塗り	ピナクルシーラー	100	0.10~0.17	1	1時間以上	はけ塗り ウールローラー塗り エアレス塗り
3 上塗り	1液ワイドシリーズ 塗料用シンナー	100 5~15	0.12~0.16	2	4時間以上 (最終養生 24時間以上)	はけ塗り ウールローラー塗り エアレス塗り

□ 上塗りの種類: 1液ワイドシリコン、1液ワイドウレタン  
□ 使用可能下塗り: ピナクルシーラー、ピナクルホワイト、ワイドシーラー-EPO

### 凹凸模様仕上げ

工程	塗料	調合(重量比)	標準所要量(kg/m <sup>2</sup> /回)	塗回数	間隔時間(23℃)	施工方法
1 下地調整	・下地は、十分に乾燥させる。(含水率10%以下、pH10以下) ・下地のレタンス・エフロレッセンス・汚れは除去し、巣穴・不陸・目違いなどは予めラフトンフィラーなどの仕上塗材用下地調整塗材にて補修する。					
2 下塗り	サミブラ 清 水	100 0~5	0.07~0.11	1	3時間以上	はけ塗り ウールローラー塗り エアレス塗り
3 主材塗り	ラフトンジャンボ 清 水	100 0~2	1.40~1.60	1	16時間以上 (凸部処理 1時間以内)	ラフトン3号ガン 口径φ6.5~8.0mm 吹付圧0.3~0.8MPa
4 上塗り	1液ワイドシリーズ 塗料用シンナー	100 5~15	0.12~0.20	2	4時間以上 (最終養生 24時間以上)	はけ塗り ウールローラー塗り エアレス塗り

□ 使用可能主材: ラフトンエポキシジャンボPRE、ラフトンジャンボ、ラフトンシリカジャンボ、ラフトンローラー  
□ 上塗りの種類: 1液ワイドシリコン、1液ワイドウレタン  
□ 使用可能下塗り: ピナクルシーラー、ピナクルホワイト、ワイドシーラー-EPO、サミブラ

### ● 一般鉄部及び金属部

工程	塗料	調合(重量比)	標準塗付量(kg/m <sup>2</sup> /回)	塗回数	塗装間隔(23℃)	塗装方法
1 素地調整	・ディスクサンダーなどの電動工具を主体とし、スクレーパー、ワイヤーブラシ、研磨布、皮すきなどの手工具を併用して、さび、劣化塗膜などを除去する。 ・油脂類は溶剤ぶきで除去する。					
2 下塗り	エポマイルド	100	0.12~0.16	1~2	3時間以上	はけ塗り ウールローラー塗り エアレス塗り
3 上塗り	1液ワイドシリーズ 塗料用シンナー	100 5~15	0.12~0.16	2	4時間以上 (最終養生 24時間以上)	はけ塗り ウールローラー塗り エアレス塗り

□ 上塗りの種類: 1液ワイドシリコン、1液ワイドウレタン  
□ 使用可能下塗り: エポマイルド、エポブラ、さびストップ ※ぶぶ漬け溶剤垂れ始めつ鋼材には、さびストップを使用してください。

### 塗装上の注意事項

- ・素地は十分に乾燥させてください。(含水率10%以下、pH10以下)
- ・素地の巣穴、クラック、不陸、目違いなどは、予め樹脂モルタルまたはラフトンフィラーなどで補修し、平滑にしてください。
- ・気温5℃以下、湿度85%以上及び結露が懸念される場合は、塗装を避けてください。
- ・強風時や降雨、降雪のおそれがある場合は塗装を避けてください。
- ・塗替時は、事前に既存塗膜を塗料用シンナーで拭き取り、溶解やリフティングが発生しないことを確認してください。
- ・塗料用シンナーで溶解やリフティングを生じようとする既存塗膜に塗装すると、ふくれ等が発生することがあります。
- ・吹付塗装の場合は、飛散防止の養生など十分に注意してください。
- ・使用前に十分かはんし、均一に塗布してください。
- ・うすめすぎは、たるみ・隠へ不足・つや不良などを生じますので注意してください。
- ・たれ、塗り残しなどがないように均一に塗布してください。
- ・塗付量は、標準的な数値です。素地の形状や状態・塗装方法・環境などによって増減することがあります。
- ・塗付量が少ないと十分な塗膜性能が得られませんので、所定の塗付量を塗布してください。
- ・各工程の塗装間隔は所定の時間を守ってください。また山間部などで、夜霧が早く降りる地域では、塗装を早めに終え、乾燥時間を確保してください。
- ・上塗りを1回塗装後、2回目の色相を変えて塗装しますと、ブリードによる変色を生じることがありますのでご注意ください。
- ・次のような下地の場合、付着不良や2回塗り時にチヂミを生じることがありますので、塗装を避けてください。  
・清掃が不十分で汚れが付着している下地 ・塗料用シンナーの拭き取りで取れた既存塗膜  
・完全硬化した2液形塗料の既存塗膜など
- ・シーリング材を直接塗装すると硬化不良を起こします。また塗膜に割れ、剥がれ、汚れを生じることがあるため、塗装は行わないでください。やむを得ず塗装を行う場合は、必ずシーリング材が十分に硬化していることを確認の上、予めラフトン逆プライヤーを塗装してください。(ポリサルファイド系シーリングの場合は2回塗りしてください。シリコン系及びブチルゴム系シーリング材へは、塗装を避けてください。)
- ・シャッター・歩行部分への使用は避けてください。
- ・ドアパッキン、ゴム、プラスチックなど可塑性を含むものに本品塗膜が接触すると、粘着の発生や剥離を起こす場合がありますので、接触が予想される箇所には塗装を避けてください。
- ・ベンチ・ジャンクボックスなど人が乗るもの、またテーブル、カウンター、棚などを置くものへの塗装は避けてください。
- ・開圧した状態で長時間放置すると、空気と反応し、増粘・皮張りを起こす恐れがあります。使用後の塗料は密閉する。また、塗料の残りが少ない場合には小さい容器に移すなどして冷暗所に保管してください。
- ・塗装用具の洗浄にはラッカーシンナーの方が容易です。
- ・補修塗りは、使用した塗料(同一ロット)を用いて、同じ塗装方法で行ってください。
- ・本見本板に記載されていない素地や仕様で塗装される場合は、塗膜欠陥を起こすことがありますので、使用する前に最寄りの営業所にお問い合わせください。

### 取扱い上の注意事項

- ・引火性の液体ですので、火気のあるところで使用しないでください。
- ・吸入すると有機溶剤中毒を起こす恐れがありますから、換気をよくし、蒸気・スプレーミストを吸い込まないよう、保護具を着用してください。
- ・取扱い作業場所には、局所排気装置を設けてください。
- ・取扱い中は、皮膚に触れないようし、必要に応じて下記の保護具を着用してください。  
有機ガス用防毒マスクまたは送気マスク・頭巾・保護メガネ・長袖の作業衣・入り巻きタオル・保護手袋・前掛けなど
- ・臭いは、食料品・飲食器・衣類などに、うつる場合がありますので、作業場所から遠ざかるまたは養生するなど、十分に注意してください。
- ・容器から取り出すときは、こぼれないようにしてください。もしこぼれた場合には、布で拭き取って、水の入った容器に保管してください。
- ・皮膚に付着した場合には、直ちに多量の石けん水で洗い落とし、痛みまたは外観に変化があるときは、医師の診察を受けてください。
- ・蒸気、臭いなどを吸い込んで気分が悪くなったときには、空気の清浄な場所で安静にし、医師の診察を受けてください。
- ・目に入った場合には、直ちに多量の流水で洗い、できるだけ早く医師の診察を受けてください。
- ・誤って飲み込んだときには、直ちに医師の診察を受けてください。
- ・取扱い後は、手洗い・うがい・鼻洗浄を十分に行ってください。
- ・容器は密栓し、40℃以下で子供の手の届かない一定の場所を定めて保管してください。  
特に下記場所の保管は避けてください。  
雨水や直射日光の当たる場所・高温多湿の場所・潮風の当たる場所・凍結の恐れのある場所など
- ・火災時には炭酸ガス消火器、泡消火器または粉末消火器を用い初期消火をしてください。
- ・捨てるときは、産業廃棄物として処分してください。



営業本部 〒510-0101 三重県四日市市楠町小倉1058-4 ☎059-397-2187 FAX059-397-6191  
研究開発本部 〒510-0851 三重県四日市市塩浜町1 ☎059-346-1116 FAX059-346-4585

札幌支店 ☎0133-60-6311 東京支店 ☎03-5661-2211 名古屋支店 ☎052-411-1255  
大阪支店 ☎072-862-1601 広島支店 ☎082-277-1116 四国支店 ☎0877-24-4621  
九州支店 ☎092-938-0071

取扱店